



アバン仙台 Jr. Youth News 2019年 1月号

第51回

2019年 1月号

アバンツァーレジュニアサッカークラブ 創立20周年記念に向けてジュニアユース1期生より応援メッセージ

菅原 和貴 くん (すがわら かずき)

アバンジュニアユース ⇒ 仙台南高校 ⇒ 東京電機大学 ⇒ 同大学院

創立20周年おめでとうございます。小学校2年生頃から入団し、中学時代はジュニアユースの1期生のキャプテン。約8年間お世話になりました。ジュニア時代は大会で優勝したり東北大会などにも出場など宮城県内ではトップレベルの成績を残せていたと思います。

一方でジュニアユースの一年目は大会に小学生を借りたり、10人で試合した時もありました(後にも先にも20点くらい取られて負けたのはこの頃だけです)。

現在では「文武両道」を掲げながらも、東北大会に出るようなチームになっていると聞き、OBとしてとても誇らしいです。超強豪高校などは分かりませんが、大学まで行って本気のサッカーを続ける人は意外と少ないと思います。ぜひ、今の仲間やコーチを大切に、そしてサッカーができる時間を全力で楽しんでください。



須藤 稜司 くん (すどう りょうじ)

アバンジュニアユース ⇒ 城南高校 ⇒ 仙台大学

この度は、アバンツァーレ創立20周年、誠におめでとうございます。

ジュニアユース1期生として卒業してから早くも8年が経とうとしていますが、在籍時の様々な思い出が昨日のこのように感じるほど充実した三年間でした。

当時のチームメイトと思い出を共有できる良い仲間として今でも仲良きさせていたいただいているのもアバンに通わせてくれた両親のおかげだと思っています。

現在、アバンに所属している選手の皆さん、今恵まれた環境でサッカーできていることを忘れずに、総監督、コーチ、両親、仲間へ感謝して目の前の事に全力で取り組んでください。今後、アバンツァーレのますますのご躍進を心よりお祈りいたします。



齋藤 柊哉 くん (さいとう しゅうや)

アバンツァーレジュニアユース ⇒ 城南高校 ⇒ 東北学院大学

アバンツァーレ創立20周年おめでとうございます。今、振り返ると私の軸となる部分はアバンで磨かれたものが土台となっていると感じています。

アバン卒業後から人との出会いに恵まれてきました。前田総監督をはじめ、スタッフの方々が本気で向き合ってください、私自身も人とのつながりを大切にできるようになったからだと思います。これからも一人一人とつながりを大切にするクラブであり続けてください。更なる発展を祈って応援し続けます。

選手の皆さん、偉そうなことは言えませんがアバンでのサッカーを全力で楽しんでください。応援しています。



柊哉くん 稜司くん



和貴くん

彼らもニッペリアで活動もしていました。

H31年度 第2回ジュニアユース12期生練習会

いつもジュニアユースへの温かいご声援ありがとうございます。

前回までにお知らせしました通り、アバンツァーレ仙台 SC ジュニアユースでは現在、平成31年度の活動を前に12期生となる新中学1年生を募集しております。そのため、12月16日(日)に第1回となる練習会を実施しました。

12月16日(日) 第1回練習会は7名の参加でした。

参加してくれた7名の選手・ご家族に感謝申し上げます。

当日は、現ジュニアユースだけでなく、練習生(6年生)の基本的な技術など、例年のスタートとしてみると順調なレベルにあることを実感しました。

そのため、ぜひ参加した7名の選手、そしてまだ参加を希望している6年生のみならず、来年度のチームも強く面白いチームになりそうなので、まずは選手たちと一緒にプレーしてみてください。キーパー希望の選手も参加してみてください。

【練習会】

●日 時：平成31年1月12日(日) 13時～15時

●会 場：中田中央公園 敷地内 サッカーグラウンド
(所在地：仙台市太白区東中田5-13)

※ Facebook やアバン公式ホームページでも、ジュニアユースの活動や試合結果、練習会等の情報を掲載しております。ぜひご覧ください。

新人戦の結果は初のベスト8

- 12月1日(土) vs 仙台FC アバン 1 : 5 仙台FC
- 12月2日(日) vs YMCA アバン 1 : 5 YMCA
- 12月9日(日) vs DUO アバン 2 : 3 DUO

来年度への手ごたえはあった

クラブ至上初めてとなる新人戦8位。ここが今の現状であることは受け止めなければなりません。

ただ、今回の1年生20名が大半を占める23名での若いチームとしては、レベルの高い技術で戦えました。

サイドの攻撃力、そして中盤の選手たちのコントロール技術とゲームの流れの組み立て方と変化を与えるセンス、DFたちも宮城県内で今後、トップを狙えるメンバーがいます。そして得点能力のある選手やおもしろいメンバーがいていいメンバーです。シーズンオフ期間での強化に取り組み、リーグ戦に向けて準備していきます。

Where there is a will, there is a way.
(意志あるところに道は拓ける。)

チーム強化には「人」の成長も大切

アバンツァーレではジュニアからジュニアユースまで一貫して人間育成にも取り組んでいます。「自主性」と「習慣づくり」もその一環として位置づけ、選手と一緒に頑張っているところです。

更にジュニアユースでは、当初から取り組んできたチーム学習。この取り組みは、創設してもうすぐ12期目に入るわけですが、チーム活動のテーマとして「文武両道」を掲げ、月に1回程度、上級生と下級生が同じ空間で勉強します。その中で聞いたり聞いてあげたりと助け合いながら勉強に励みながらコミュニケーションをとることでチーム力向上に取り組んでいます。

右の写真中央に写っているのは、2年生の荒井優輝(ゆうき)君と右側が1年生の後藤碧葉(あおば)君です。

優輝くんも碧葉くんがアドバイスを求める快く聞き入れ、丁寧に優しく教えてくれました。こういった関係性がチーム練習でも見られ、よい関係性が築けています。

選手たちは、大好きなサッカーで出会った仲間たちと勉強に励み、大好きなサッカーのためにチーム力も上げる。

そのためには、仲間を知ること、気付くこと、尊重される関係であること。諦めず根気強く、支え合ってあげることも大事だと考えております。1戦1戦一緒に戦える関係性が表れることを今後も楽しみにコーチも一緒に活動していきます。



優輝くん と 碧葉くん

『7割でも良しとして誉める』

2019年の活動もスタートです。12月まで1年生中心でMJ3部・U13リーグを戦いきたわけですが、新人戦は2年生が3名という1年生20名中心で構成されている新チームです。恐らく、これまでのジュニアユースの中で一番若いチームとして来年度の1部再昇格に挑みます。

12月の新人戦初の上位トーナメントの3戦。スコアだけ観れば残念に思われるかもしれませんが、例年以上に中学1年生としては基礎技術、ゴールに向かった攻撃の強みをもったチームです。

それでも、若いチームですから「勢い」をもって今後の活動をしてもらいたいところです。でも、『完璧』を互いに求めすぎないことが大切です。今はまだ早熟でも構いません。今、やるべきことは1部再昇格に向けて団結してその短期的な目標に集中して取り組むことです。

ただ、それには個人の成長も大事です。もちろん全員のレベルがある程度「揃う」ことは大事ですが、あまりにも選手同士で求めすぎて言葉に厳しさやキツさが出てしまうのも中学生にはよくあることです。仲間の集中している中での失敗には、まず責めるのではなく、ミスで終わらせず失ったボールは全員で取り返し、失敗した場面とプレーについては、個人でも仲間全員で話し合い修正する。

そこで大事になるのが、『仲間の行いを尊重、時に律する』です。

コーチから指示待ちではなく、選手が自主的に活動する。その中でも尊重して、選手の考えや行動が主体的に実践されるチームを目指し活動しているところです。

その活動中でもまず仲間の考えを尊重する。そしていいプレーには選手同士でも評価してあげることは選手としての「喜び」や「やりがい」、「意欲」にもなります。「今のよかった」「OK!」、「Thank you!」など、そしてもっと良くしていくことに力を注ぎましょう。

ジュニアユース2期生とのある会話

先日、20周年のお知らせをしていたところ、1年生の時から自己主張をもって積極的に活動していた2期生の阿部康佑(こうすけ)くんと話す機会がありました。そこで、ジュニアユースも早くも12期目を迎えることを伝えた時の康佑くんの言葉です。

『まずは、20周年おめでとうございます。自分はジュニアユースができたばかりのその頃は、なかなか試合に勝てず苦しい時期もありましたが、全員で必死に練習に取り組んでいた記憶があります。』

今でも覚えているということは、本当に必死だったんだと思います。毎日の練習と勉強、目標設定シートの提出など大変なことも多くありました。でも、こういったことに真摯に取り組んだことが、人間としての大きな成長につながったと思っています。

2017年度にはクラブユース東北大会に進んだということで、アバンが少しずつ強く大きなクラブになっていっているのだと、本当に嬉しいです。

アバンツァーレの皆さん、これからも1回1回の練習を大事に、仲間と支え合いながら頑張ってください。応援しています!!

今回、コメントをもらった2期生や歴代のOBたちも最近の成績に興味を持ってくれ応援してくれています。選手のみならず、これからも応援に感謝し頑張っていきたいと思います。

キーパーコーチのお知らせ

来年1月からアバンツァーレではゴールキーパー育成・強化のため、宮城県・東北圏内で活動されている堀田尚孝(ほった なおたか)氏にお手伝いいただきます。

『堀田尚孝』氏を紹介

【主な活動】

- ・東北トレセン、宮城県トレセン、地区トレセンを担当。
- ・GKプロジェクト内のクリニックのコーチとしても活動。
- ・年代別では、U10～U15男子、U15女子。
- ・サポートとしてコース(高校)の男子・女子など幅広く担当されているベテランのコーチです。

クラブとしても今後、全国でも活躍するゴールキーパーの育成と強化に力を入れていきます。

今後は、平日のスクールやチーム練習、週末の日程が合う時にお手伝いいただくので皆さん宜しくお願いします。

アバン山形 垂石コーチ 紹介



垂石 竜志

(たるいし りゅうじ)

- ・1985年7月31日生(33歳) A型
- ・好きな食べ物・カレーライス、焼きそば
- ・アバンツァーレ Jr サッカークラブ山形地区担当指導者。
- ・19歳の時にアバンで指導者としてのキャリアをスタート。
- ・4度の全国大会出場を体験。今年で15年目となる。

【経歴・実績】

- ・2006年山形JFCコーチとして全日本少年サッカー大会全国大会出場
- ・2007年山形JFCコーチとして全日本少年サッカー大会全国大会出場
- ・2016年アバンツァーレ山形SC監督としてパーメントカップ全国大会出場
- ・2017年アバンツァーレ山形SC監督として全日本少年サッカー大会全国大会出場

【皆様へのご報告】

2019年1月よりアバンツァーレ Jr サッカークラブ山形、宮城の統括責任者として、現在山形で指導している垂石竜志コーチが任命されました事を皆様へご報告します。

垂石コーチは、今まで通り山形での指導に重点を置きながらも、アバンツァーレ仙台のスクール、選手コースジュニア、並びにジュニアユースに関わっていきます。

【垂石コーチから皆様へご挨拶】

この度、アバンツァーレ Jr サッカークラブのまとめ役として、拝命いたしました垂石竜志(たるいし りゅうじ)です。

現在は山形でアバンのサッカースクールの指導、選手コースの監督をしています。

2019年の『アバンツァーレ創設20周年』に向け、今まで以上に皆様ワクワクできるクラブになる様、山形と宮城のスタッフ総力を挙げて取り組んでいきたいと思っております!

宮城の会員の皆様は、これから会場でお会いできることを楽しみにしております。山形の皆様はこれからも何卒宜しくお願い致します。アバン全体が盛り上がるように、頑張ります!

※ Facebookでもチームの活動について紹介していきますので、ぜひジュニアユースの情報を見てみてください。